| 科目ナンバー | LINI 2 010 | <u> </u> | | 科目名 | 群馬の言符に | Ľ±. | | |
|--|--|----------|---|------------|---------------|-----------------------|------------|---|
| | · · | | | 群馬の言葉とこども | | ₩ / */- | 2 | |
| 教員名 | 佐滕 尚可 | | | 用誦牛皮子期 | 2020年度 前期 単位数 | | 単位致 | ۷ |
| 概要 | 日本語方言の基礎を学ぶとともに、群馬の方言について学習します。また、群馬方言に関する教材づくり (方言かるた、方言すごろく、方言クイズ、方言紙芝居、方言調査など)を行い、作成した教材を活用する国 語科教育や日本語教育などの授業案や活動案を作り発表します。 | | | | | | | |
| 到達目標 | 日本語や日本語方言、群馬方言についての理解を深め、日本語や言語に関する教養を高めます。教材づくり(や調べ学習)の体験を通して、小学校教員、日本語教師としての能力や技能(教材が作成できる、調べ学習を円滑に指導できる、統計処理にPCを有効に活用できる等)を身につけます。 | | | | | | | |
| 「共愛12の力」との |)対応 | | | _ | | • | | |
| 識見 | | 自律する力 | | コミュニケーションカ | | 問題に対応する力 | | |
| 共生のための知識 | 0 | 自己を理解する力 | | 伝え合う力 | 0 | 分析し、 | 思考する力 | |
| 共生のための態度 | | 自己を抑制する力 | | 協働する力 | | 構想し、 | 実行する力 | 0 |
| グローカル・マイ ンド | | 主体性 | 0 | 関係を構築する | 3 カ | 実践的ス | ドキル | 0 |
| 教授法及び課題の フィードバック方 法 アクティブラーニン | 教科書を用いて、方言学の基礎や群馬の方言について、受講者のプレゼンテーションをもとに学びあいを行います。同時に、受講者の興味関心をもとに、群馬の方言に関する教材づくり(や方言調査)と授業案・活動案づくりを行います。 <フィードバック方法> 受講者のプレゼンテーションの後に補足説明を行い、プレゼンテーションを行ったものには指導助言を行います。 群馬の方言に関する教材作り、授業案・活動案については、発表会にて指導助言を行います。 グ サービスラーニング 課題解決型学修 | | | | | 授業 | | |
| | | | | | Jan. 2011 | _ , ,, | | |
| 受講条件 前提 科目 | 第1回に欠席した場合、受講できません(公欠を除く)。 受講希望者が40人までは受講制限を行いません。40人を超えた場合は、次の優先順位で受講可能となります。 ①小学校教員免許取得中 ②中学校教員免許「国語」取得中 ③日本語教師養成プログラム受講中 4児童英語教師養成プログラム受講中 群馬の方言、日本語、ことばの変化などに興味がある人、卒業論文で日本語に関する内容をテーマにしようと考えている人の受講を歓迎します。 教科書の担当箇所のプレゼンテーションに加えて、教材づくり(場合によっては、調査、集計作業)、授業案・活動案づくりとその発表があるので、群馬方言の話だけを面白おかしく聞いてみようという方はご遠慮ください。調べ学習を体験することになった場合は、方言調査の集計作業の際にマイクロソフトのエクセルを使うことがあるので、ある程度の基本操作が可能であると受講しやすいと思われます。 | | | | | マにし 、授 がは フト | | |
| アセスメントポリ シー及び評価方法 | <アセスメントポリシー> 平常点・授業中の意見交換や討論への取り組みについては、「共生のための知識」として総合的に評価します。 プレゼンテーションについては、「伝え合うカ」「構想し、実行するカ」として総合的に評価します。 教材・作品づくりについては、「主体性」「構想し、実行するカ」「実践的スキル」として総合的に評価します。 す。 <評価方法> 平常点・授業中の意見交換や討論への取り組み(40%) プレゼンテーション(20%) 教材・作品づくり(や方言調査など)(20%)発表(20%) | | | | | | | |
| 教材 | 木部暢子・竹田晃子・田中ゆかり・日高水穂・三井はるみ2013『方言学入門』(三省堂)ISBN:978438536 3936 | | | | | | | |
| 参考図書 | 佐藤髙司2009『地図とグラフで見るぐんまの方言』(上毛新聞社)遠藤隆也2001『面白かんベェ上州弁』(プレーン・オフィス)古瀬順一1997『群馬県のことば』(明治書院)篠木れい子1994『群馬の方言一方言と方言研究の魅力一』(上毛新聞社)井上史雄2002『日本語ウォッチング』(岩波新書)篠崎晃一+毎日新聞社2008『出身地がわかる!気づかない方言』(毎日新聞社) | | | | | | | |

内容・スケジュール

1调目

| 授業学修内容 | ガイダンス上州弁度チェック | | |
|----------------------------|--|-----------|---|
| 授業外学修内 容 | 方言に関する図書を図書館で探してみよう。自分自身が話すことばの何が方 言なのか考えてみよう。 | 時間数 | 1 |
| 2週目 | | L | l |
| 授業学修内容 | 「ぐんま方言かるた」と群馬方言の特徴群馬方言に関する図書の紹介 授業案の事例紹介、プレゼン担当者の決定 | | |
| 授業外学修内 容 | 群馬の方言に関する図書やHPを図書館やインターネットで調べてみよう。 | 時間数 | 1 |
| 3週目 | | • | |
| 授業学修内容 | 地図から見えることばの地域差 | | |
| 授業外学修内容 | 教科書第1章を予め読んでおこう。気になる内容があったら自分で調べてみよう。 | 時間数 | 1 |
| 节 4週目 | <u> </u> | | |
| 授業学修内容 | ことばの仕組みから見える地域差 | | |
| | | 1 | |
| 授業外学修内容 | 教科書第2章を予め読んでおこう。 気になる内容があったら自分で調べてみよう。 | 時間数 | 1 |
| 5週目 | | | |
| 授業学修内容 | 発表準備、発表資料作り、プレゼンテーション練習 | | |
| 授業外学修内 | 担当する教科書を読み、発表資料づくりをしよう。発表資料ができたら発表の | 時間数 | 1 |
| 容 C III II | 練習をしよう。 | | |
| 6週目 | | | |
| 授業学修内容 | コミュニケーションから見えることばの地域差 | | |
| 授業外学修内 容 | 教科書第3章を予め読んでおこう。 気になる内容があったら自分で調べてみよう。 | 時間数 | 1 |
| 7週目 | | • | |
| 授業学修内容 | 社会の変化から見えることばの地域差 | | |
| 授業外学修内 | 教科書第4章を予め読んでおこう。気になる内容があったら自分で調べてみよ | n土 88 米/- | 1 |
| 容 | う。 | 時間数 | 1 |
| 8週目 | | | |
| 授業学修内容 | 「方言」から見える日本の社会 | | |
| 授業外学修内 | 教科書第5章を予め読んでおこう。 気になる内容があったら自分で調べてみよ | 時間数 | 1 |
| 容 | <u>ි</u> වං | | |
| 9週目 | += w o + 1 v | | |
| 授業学修内容 | 方言学のまとめ | | |
| 授業外学修内 容 | 教科書を通して読んでまとめてみよう。 気になる内容があったら自分で調べ てみよう。 | 時間数 | 1 |
| 10週目 | • | • | • |
| 授業学修内容 | 学習指導要領と方言、指導計画書の作成 *材料・用具等の請求 | | |
| 授業外学修内 | 学習指導要領を予め読んでおこう。 気になる内容があったら自分で調べてみよう。 | 時間数 | 1 |
| <u>容</u> 11週目 | 0 .20 | | 1 |
| 上 ^{1四日} 授業学修内容 | 学習指導要領と方言、指導計画書の作成 *材料・用具等の配付 | | |
| 授業外学修内 | 学習指導要領を予め読んでおこう。気になる内容があったら自分で調べてみ | n± == *** | |
| 容 | よう。 | 時間数 | 1 |
| 12週目 | | | |
| 授業学修内容 | 教材づくり、授業案・活動案づくり(1) | | |
| 授業外学修内 容 | 教材を完成させよう。授業案・活動案を完成させよう。発表会の準備をしよう。 | 時間数 | 1 |
| 13週目 | • | | • |
| 授業学修内容 | 教材づくり、授業案・活動案づくり(2) | | |
| 授業外学修内 容 | 教材を完成させよう。授業案・活動案を完成させよう。発表会の準備をしよう。 | 時間数 | 1 |
| | • | | • |

| 14週目 | | | | | |
|------------------|---------------------------------|-----|----|--|--|
| 授業学修内容 | 発表会(1) | | | | |
| 授業外学修内 容 | 作品と発表の評価を行い、自らの作品と発表をさらに発展させよう。 | 時間数 | 1 | | |
| 15週目 | | | | | |
| 授業学修内容 | 発表会(2)、レポート(教材の説明、授業案・活動案)の提出 | | | | |
| 授業外学修内 容 | 教科書を読み直して復習し、これまでの学習をまとめよう。 | 時間数 | 1 | | |
| 上記の授業外学修時間の合計 15 | | | | | |
| その他に必要な自習時間 | | 75 | 75 | | |

| Number | LIN-2-019-j | | Gunma's Language and Children | | | |
|-----------------|--|-----------------------|-------------------------------|---------|---|--|
| Name | 佐藤 高司(Sato Takashi) | Year and S emester | First semester fo r 2020 | Credits | 2 | |
| Course O utline | In the first half, I will learn the basics of Japanese dialect. Also I will learn about Gunma dialect. In the second half, we will make teaching materials on the Gunma dialect (dialect Karuta, dialect Sogoroku, dialect quiz, dialect story show, dialect survey etc.). In addition, we will make and ann ounce lesson plan and activity plan such as Japanese language education and Japanese language education using the created teaching materials. | | | | | |